

仕 様 書
(心臓リハビリテーション機器 一式)

下記条件を承知し、阿賀野市財務規則に基づき入札してください。

1	調達物品名及び要件		
1-1	件名	心臓リハビリテーション機器一式	一式
1-2	製品名	「1-3 物品の構成内容」の記載内容による	
1-3	物品の構成内容		
1-3-1	医用テレメーター受信機4床分組込済 WEP-1400-Z02 (日本光電工業株式会社)	一式	
1-3-2	レコーダユニット WS-140P(日本光電工業株式会社)	1個	
1-3-3	レコーダホルダ DH-140P(日本光電工業株式会社)	1個	
1-3-4	架台 KC-140P(日本光電工業株式会社)	1個	
1-3-5	バッテリーパック SB-950P-DB(日本光電工業株式会社)	1個	
1-3-6	アンテナ基台 ZA-023P(日本光電工業株式会社)	1個	
1-3-7	医用テレメーター設置調整費	一式	
1-3-8	送信機 ZS-730P(日本光電工業株式会社)	4式	
1-3-9	電極リード線 BR-933P(日本光電工業株式会社)	4本	
1-3-10	フィンガープローブ TL-201T(日本光電工業株式会社)	4本	
1-3-11	送信機 設置調整費(複数台)	4式	
1-3-12	携帯型受信機 ZT-210P(日本光電工業株式会社)	1式	
1-3-13	コードレスリカンベントバイク BFR(セノー株式会社)	1式	
1-3-14	測定機能付き自力運動訓練装置 EM-405(オージー技研株式会社)	1式	
2	技術的機能及び要件		
2-1	契約後、下記「3 心臓リハビリテーション機器 一式 機能仕様」で示した機能及び性能等要件を満たしていないとあがの市民病院が判断した場合、あがの市民病院の指示に従い納入期限までに要件を満たすこと。		
2-2	契約後、納品までの間に改良版や後継機が発売された場合、速やかに対応すること。		
3	心臓リハビリテーション機器 一式 機能仕様		
3-1	医用テレメーターについては以下の要件を満たすこと。		
3-1-1	本体部、ディスプレイ部、受信部が一体型のコンパクトモニタであること。		
3-1-2	対角18.5インチ以上、解像度1920×1080dot以上の液晶ディスプレイを有していること。		
3-1-3	LCDはダイレクトボンディングであること。		
3-1-4	ディスプレイはアンチグレア処理をされていること。		
3-1-5	波形表示項目は心電図(1波形)、呼吸曲線、脈波、観血血圧波形(最大2波形)、CO ₂ 分圧曲線であり、表示させる波形項目の第2波形以降は測定している項目から任意に選択が可能であること。		
3-1-6	ベッドの表示位置をドラッグ&ドロップ機能で移動可能なこと。		

3-1-7	全患者画面で表示されている数値の表示位置をドラッグ &ドロップで入れ替え可能なこと。		
3-1-8	退床中の患者表示枠を非表示にする機能をもつこと。		
3-1-9	各測定項目の表示色を12色以上から選択ができること。		
3-1-10	A-FIB解析機能を有すること。		
3-1-11	退床した患者のデータは最大14日間保存できるこ と。		
3-1-12	保全データは最大24時間のデータが保存できるこ と。		
3-1-13	現在病棟で使用しているベッドサイドモニタ（PVM- 2700シリーズ）及び送信機（ZS-600シリーズ）と無 線通信ができる機能を有すること。		
3-2	送信機については以下の要件を満たすこと。		
3-2-1	患者に携帯させることを考慮し幅65.5×高さ95.1× 奥行き26.5mm以下であること。		
3-2-2	測定中に、医師や看護師に対してセントラルモニ タ、医用テレメータ経由で告知できるイベント機能 を有していること。		
3-2-3	ECG測定のみ・SpO2測定のみを使用ができること。		
3-2-4	心電図測定時に、心電図波形の表示が可能であるこ と。		
3-2-5	経皮的動脈血酸素飽和度測定時に、脈波波形、経皮 的動脈血酸素飽和度、脈波の状態を表すバーグラフ の表示が可能であること。		
3-2-6	通信は電波法に定められた小電力医用テレメータに 準拠していること。		
3-2-7	電極交換時などでアラームの発生が予想される場合 に、送信機本体であらかじめアラーム中断操作を行 うことで、受信モニタで発生するアラームを一時的 に中断する機能を有すること。		
3-2-8	送信チャンネル番号を変更することが可能であるこ と。		
3-2-9	誤操作を防ぐためキーロック機能があること。		
3-2-10	IPX8の防水構造であり、消毒剤で清掃・消毒が可能 であること（本体のみ）。		
3-2-11	チャンネル表示部に現在のゾーン、ホスピタルID、チ ャネル番号が電子ペーパーで表示されること。		
3-2-12	現在病棟で使用している医用テレメーター（WEP- 5200シリーズ）と無線通信ができる機能を有するこ と。		
3-3	携帯型受信機は以下の要件を満たすこと。		
3-3-1	医療スタッフが携帯することを考慮し、大きさは幅 117×高さ62×奥行き16.1mm以下であること。		
3-3-2	ディスプレイサイズは2.7インチ以上のカラー液晶で あること。		
3-3-3	心拍または脈拍に同期して同期音を発生させること ができ、音量は可変できること。また音量に応じて 音量表示マークが変わること。		
3-3-4	本体の重量は電池を含まずに80g以下であること。		
3-3-5	次の項目の表示が可能な機能を有すること。 波形は心電図/脈波、数値は心拍数/呼吸数/経皮的動 脈血酸素飽和度値/脈拍数（心電図未計測時）		

3-3-6	脈波がない場合には心電図をカスケード表示が可能であること。		
3-3-7	電池残量状態を表示する電池マークを有し、残量の状況を4段階で表示できること。		
3-3-8	送信機に約10cm以内に装置を近づけることで、約3秒以内に自動で送信機のチャンネルサーチができること。		
3-3-9	受信チャンネルはA型送信機ch1001～ch6080が受信可能でかつ、サーチできるチャンネルバンドを限定させることができること。また、チャンネルを限定した場合、受信可能チャンネルをサーチ画面に表示できること。		
3-4	自転車リカンベントエルゴメーター（コードレスリカンベントバイク BFR）は以下の要件を満たすこと。		
3-4-1	電源を内蔵バッテリーからとり、AC100Vが不要で、レイアウトフリーであること。		
3-4-2	トレーニング（30W以上かつ30回転以上）でペダルをこぐことにより、内蔵バッテリーに自動充電する機能があること。		
3-4-3	バッテリー充電量が少ない場合は、専用充電器で充電できること。		
3-4-4	負荷は高精度な制御ができる発電ブレーキ方式が採用されていること。		
3-4-5	ベルトドライブ方式であること。		
3-4-6	オートオフ機能により、自動的に電源が切れること。		
3-4-7	ペダリングオン機能により、ペダルをこぐだけで電源が入ること。		
3-4-8	クイックスタート機能により、初心者にもわかりやすくトレーニングできること。		
3-4-9	PI定脈拍制御機能を有すること。		
3-4-10	体力スコアはステップ脈拍方式と、ランプ脈拍方式が選べること。		
3-4-11	液晶表示の文字が大きいタッチパネル式カラー液晶表示器を採用していること。		
3-4-12	特定のボタンを押すと画面の説明を表示する情報画面機能を有すること。		
3-4-13	管理者が、不可、時間などの制限をかけるカスタマイズ機能を有すること。		
3-4-14	継続的に高精度な脈拍検出が可能なイヤーセンサを採用していること。		
3-4-15	スペース効率を考慮した設計であること。		
3-4-16	シートに座ったまま、前後の調整ができること。		
3-4-17	前脚がキャストになっていること。		
3-4-18	床に置いたときがたつく際に、後脚のゴムを回転させて改善できる機能を有すること。		
3-4-19	グリップセンサを有すること。		
3-4-20	バッテリーが使用できなくなっても、ACアダプタ専用充電器の接続で使用できること。		
3-4-21	ワンタッチ式で操作の簡単な固定ストラップ付ペダルを採用していること。		
3-4-22	快適なこぎ心地のため、短いクランクを採用していること。		

3-4-23	内蔵バッテリー充電中を知らせるランプを搭載していること。		
3-4-24	耐久性があり、傷の付きにくい樹脂カバーを採用していること。		
3-4-25	シート調整がスムーズであること。		
3-4-26	高齢者対応のサポートペダルを有すること。		
3-4-27	コンソールにワンタッチ式角度調節機構を採用していること。		
3-4-28	通気性のある背当てを採用していること。		
3-4-29	USB充電が可能であること。		
3-4-30	USBメモリを用いてトレーニングデータの取り出しが可能であること。		
3-5	測定機能付自力運動訓練装置は以下の要件を満たすこと。		
3-5-1	サポートバー、滑り止めシートの付いたステップで乗り降りを安全にサポートすること。		
3-5-2	シート高さ、ハンドル角度は範囲内で無段階調節ができ、身長135～190cmの者に対応、無理のない姿勢で運動ができること。		
3-5-3	設定値記憶機能により、スムーズにトレーニングを開始できること。		
3-5-4	ペダル用ベルトでトレーニング中の足の踏み外しを防止すること。		
3-5-5	操作パネルは大型、可動式のタッチパネルであること。		
3-5-6	イヤースンサで脈拍数をモニタリング。上限脈拍数を設定し、1分間当たりの上限を超えるとアラートが鳴動し、運動プログラムが終了する機能を有すること。		
3-5-7	使用者の体力レベルを5段階で評価する「体力テストモード」と、「ペダル負荷一定トレーニング」「脈拍一定トレーニング」「ワット一定トレーニング」のトレーニングプログラムを繰り返し行うことで、利用者にとって効果的なトレーニングを継続して行うことができること。		
3-5-8	一般医療機器として認められている機器であること。		
3-5-9	「シリアルケーブル」を接続することで、本製品と外部コンピュータの間でのデータ送信、外部からの本製品の動作制御を行うことができること。		
3-5-10	ペダル負荷設定範囲が2-42N・mであること。		
3-5-11	目標ワット数設定範囲が10-200Wであること。		
3-5-12	対象体重が135kgまで対応していること。		
3-5-13	年齢、上限脈拍数、目標脈拍数、脈拍数、ペダル回転数、運動時間、消費カロリー、ペダル負荷、ワット数（運動強度）の表示機能があること。		
3-5-14	起動音、操作音、ピッチ音（40回転/分、50回転/分、60回転/分）、上限脈拍報知音、3秒カウントダウン報知音、運動開始音、運動終了音、設定記憶音の報知音を備えていること。		
4	設置要件		
4-1	設置場所		
4-1-1	あがの市民病院が指定する各諸室に設置すること。		

4-2	装置の搬入・工事・据付・調整は、以下の要件を満たすこと。また、その費用は入札金額に含むこと。		
4-2-1	装置の搬入・工事・据付・調整は、診療業務に支障をきたさないよう、日時等を発注者と受注者で協議して定めるものとする。		
4-2-2	装置の搬入・工事・据付・調整は、搬入経路・各諸室内設置場所・資材置き場等に必要に応じて養生を行い、建物及び物品及び備品などに損傷を与えないように十分に配慮すること。また、万が一損傷をきたした場合には、発注者と受注者で協議して対応を定め、受注者が責任を持って現状復帰すること。		
4-2-3	装置設置に伴い必要となる工事及び機器搬入の方法は、事前確認及び発注者の承諾が必須条件であり、あがの市民病院担当者と事前調整を行い、その承諾を得てから実施すること。		
5	保守管理体制		
5-1	本装置設置後、発注者の検収を受けた日より1年間の間は無償修理及び交換(人件費を含む)期間とすること。また、本システムが正常に動作するよう1年間は無償で点検及び調整に対応すること。		
5-2	障害発生時には、復旧のための連絡を受けてからすみやかに現場対応ができる体制を整えること。		
5-3	障害発生時の緊急連絡先情報を作成し、あがの市民病院担当者に提出すること。		
6	その他		
6-1	マニュアル・操作訓練体制等は、以下の要件を満たすこと。		
6-1-1	装置の取扱説明書(操作マニュアル)は、各機器の日本語版を2部用意すること。		
6-1-2	バージョンアップ等により操作方法に変更が生じた場合には、その都度変更部分のみ最新版に差替えるか、あるいは最新版マニュアルを提出すること。		
6-1-3	装置の取扱いに関する教育訓練等は、日時・場所・回数をあがの市民病院担当者と受注者で協議して定め、あがの市民病院関係者が万全の体制で治療を開始できる内容で実施すること。		
6-1-4	装置の運用を円滑にするための技術的なサポートを適切に行うこと。		
7	納入期限		
7-1	本装置は、2027年3月31日までに納品すること。 (ただし、諸般の社会情勢や市場状況を鑑み、受注者の責めに帰さない事由により期限までに納入することが困難になった場合は、納期変更について、契約後に協議により対応する。)		